

● 世界の主な火山活動

平成 22 年（2010 年）11 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

メラピ（インドネシア）（図中 A）

10 月 26 日の噴火以来活発化した活動は、11 月も継続した。3 日には 38 の火砕流が発生し、火口から 10km 先まで流れるものもあった。5 日には火砕流が流れ続け、15km 以内で砂粒大の火山灰が降った。半径 20 km 以内の町に避難勧告が出された。

噴火は 6 日まで非常に活発で 9 日以降はやや弱まったものの、犠牲者は 322 人に達し、13 万人が避難生活を余儀なくされた。また、火山灰の影響によりジョグジャカルタ空港が一時閉鎖された。

テンガーカルデラ（図中 B）

11 月 26 日にプロモ丘から噴火が起こり、噴煙が海拔 13.7km まで上がった。25km 西のマラン市の国内線専用空港は 29 日に閉鎖された。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

